**講　座　案**

担当：藺染屋千丁

　　　　　　実施日2020年1月22日（水）

行事名:家庭教育学級

人数：15名（つき）、9名（そら）、6名（ほし）

保護者３０名、先生６名（保護者欠席の子に入って頂く）

ねらい：草木染め体験を通して豊かな感性（優しさ・自己肯定感）と表現（自己表現力）を育む。

内容：普段は捨てるたまねぎの皮を使って模様づけを行い美しい草木染め作品ができることを体験する。

活動：たまねぎの皮を使って、個々に布に模様を作って草木染めをする。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 活動者の動き | 環　境　構　成 | 配　　　慮 | 準備物 |
| 13：00  13：05  13:10  13:20  13:30  13:40  13:45  13:55  14:05  14:10  14:20 | ◇班毎にテーブルにつく  ・園児と保護者で６班を作る  ◇全体の活動とお約束を確認する  ◇草木染めの手順を知る  ・生地を受け取る  ・染浴（せんよく）と媒染（ばいせん）のお話を聞く  ◇模様の付け方の説明を聞く  ・好きなように道具を使って模様を作る  ◇ボールに染浴を作る  ◇生地に道具を使って模様を作る  ・必ず記名したシールが貼ってある洗濯バサミを１個使う  ◇ボールに生地を浸ける  ◇絵本の読み聞かせを聞く  ・絵本を読み終わった後、講師が出した問題（絵本の中に出てくるたまねぎ料理はなんですか？）園児が答える  ◇生地を染浴から取り出す  ・各班毎のボール小１個にまとめて入れて、手洗い場で個々に洗う  ・輪ゴムと洗濯バサミは班毎のテーブルに戻ってからはずす  ◇班毎のテーブルに戻る  ◇持ち帰り用ビニール袋を受け取る。  ◇プリントを受け取る  ・草木染めって何だろう？のお話を聞く  ◇終わりの挨拶をする | ◇講師用テーブル（１台）の準備をする  ◇参加者用テーブルの準備をする（６台）  ・新聞紙を敷いておく  ◇道具の準備をする  ・名前シールのついた洗濯バサミ（１個/人）  ◇全体の活動の流れをマグネットカードで説明をする  ◇安全上の注意をカードで説明をする  ・黒板にマグネットで貼っておく  ◇草木染めの手順をデモンストレイションしながら説明する  ・年長さん数名にたまねぎの皮を袋に詰めてもらう  ・鍋に入れてもらう  ・魔法の粉（天然ミョウバン）を入れてもらう  ・生地を入れてもらう  ◇生地を水洗いして持ち帰ることを説明する  ◇模様の付け方を説明する  ・生地や模造紙やカードを使って説明をする  ◇バケツで各班に染浴を配布する  ◇あらかじめ溶かしておいた魔法の粉（天然ミョウバン）を入れてもらう  ◇模様を作った生地をボールに浸してもらう  ・菜箸で染まっていないところが無いように混ぜてもらう  ◇座ったまま絵本を読み聞かせる  ・絵本「いろいろおふろ入り隊！/穂高順也作」をよむ  ・絵本の中に出てくるたまねぎを使った料理の名前を挙げてもらう  ・トイレ、手洗い、水飲みなどに行きたい子は行かせる  ◇手洗い場では軽くすすぐ程度で、混雑を避けるために自宅に帰ってからしっかり洗い流してもらう  ◇手袋の着用は任意ですが、色が落ちにくいことを説明する  ◇持ち帰り用ビニール袋を配る  ◇プリントを配布する。  （保護者と幼児で１枚ずつ）  ◇先生からの指示を待つ | ◇あらかじめ班構成を考えてスムーズに配置を促す。  ・名前シールがついた洗濯バサミの確認をしてもらう  ・配布物の不備が無いかを確認してもらう  ◇説明が聞き取れない場合や説明が不足している場合は先生や保護者に随時質問をしていただく。  ・道具が多いため、園児が動き回れないため気をつけるよう助言をする。  ◇染浴ができるまでの過程を園児と一緒に動きを追って説明する。  ◇色止めと発色を促す金属を魔法の粉として表現することで草木染めの遊びを美しい作品作りとして印象付ける  ◇５種類の絞り模様を説明する  ・扇型模様  ・蛇腹模様  ・市松模様  ・豆絞り模様  ・水玉模様  ◇寸胴鍋にあらかじめ煮出したたまねぎの皮の染め液を貯めておきそこから各班に柄杓かバケツを使って配布する。  ◇媒染液をペットボトルにあらかじめ攪拌しておいたものを６本用意しておき、それを染め液のボールの中に各班毎に入れる。  ◇声が届くようにはっきりとゆっくりはなす  ◇身近な食材であるたまねぎを使った料理を絵本を題材とした問題として当ててもらいたまねぎという食材にも興味を持てるよう促す  ◇トイレに行きたい子は随時行ってもらうよう気にかける  ◇手洗い場で生地を洗うには時間差を設定しておく。  ・手洗い場が混雑する場合は、バケツに水を汲んですすいでもらう程度でも良い  ・手洗い場に行く順序をあらかじめ決めておく  ◇手袋の着用を促す  時間が余ればプリントの説明をしますが、無い場合は14：15をめどに終わりにします。  ◇説明文に出てくる実物のもの（藍の葉や棉など）を見てもらいながら説明をする。 | ◇雑巾（1枚/班）、ボール（大1個/班）、バケツ（１個/班）、菜箸（1組/班）、ボール（小1個/班）、輪ゴム（２個/人）、名前シールのついた洗濯バサミ（１個/人）、割り箸（１本/人）  ◇マグネットカード  ◇デモンストレーション用道具  ・たまねぎの皮用ネット×１枚、鍋×１、天然ミョウバン×１皿、生地1枚  ◇生地または模造紙に絞り模様５種類を施したもの  ◇寸胴鍋と柄杓と耐熱バケツ  ◇天然ミョウバンを溶かしたペットボトルを班毎に１本ずつ用意する  ◇絵本「いろいろおふろ入り隊！」  （熊本地震の際に自然学校まちやまの代表から贈られた絵本）  ◇ハンドタオルで手を拭いてもらう  ・すすぎ用バケツ  ・輪ゴムなどを外した後のごみ捨て用袋  ◇手袋  ◇ビニール袋は一人に1枚ずつ  ◇プリントは保護者と園児で合わせて1枚ずつ |
| 評価・反省（次回につなげること）  ●園側の準備でマイクを使用できたことが助かりました。  ●家庭教育学級の講座でしたが、園長先生を始め先生が生地をご用意くださって積極的に講座に参加して下さいました。  ●園児には長い時間の講座であったため絵本の読み聞かせの前にトイレ休憩を入れました。  ●園児によるデモンストレーションとレジュメを配布しての内容の説明は時間の都合上行うことができませんでした。 | | | | |

【準備】

◇安全面の確認（火傷の恐れはないが、道具の使い方や内容からリスクを園の先生に伺い把握する）

◇参加者の数を確認し、生地を発注する

◇テーブルのセッティングをする

◇新聞紙をテーブルに敷く（セロハンテープでとめる）

◇道具のセッティングをする

◇当日の開催時間前にたまねぎの皮を煮出し、２０リットル以上を寸胴鍋にためておく

（４リットル程度の鍋で数回に分けて煮出す）（煮出したあとは冷めすぎないようようにする）

◇班分けを考えておく

◇導線の確認

参考資料：

①お茶の水女子大学（３年間指導計画・月案・週案・日案

のつくり方）http://www.ocha.ac.jp/intl/cwed\_old/eccd/report/hand\_J/2\_3.pdf

②文部科学省（幼稚園の教育内容等）

https://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/youchien/1258019.htm

【会場レイアウト】

①新聞紙を敷く

②生地（参加者用）たまねぎの皮・皮用袋・鍋・菜箸・絵本・たまねぎのオブジェ・手袋（参加者用）・持ち帰り用ビニール袋・模様づけの布または模造紙・手順用マグネットシート・絵本・プリント・プリント説明の道具・ゴミ袋・名札用シール予備・油性マジック

ステージ

６班

５班

４班

３班

２班

１班

①新聞紙を敷く

②ボール大１・バケツ１つ・菜箸１本・ペットボトル１本（魔法の粉を溶かしたもの）・洗濯バサミ（名前シールを貼ったもの）・輪ゴム・雑巾・ゴミ袋

グラウンド側入り口

鍋

・寸胴鍋（たまねぎの皮の染液）

・柄杓

班毎のテーブル

黒板

講師用テーブル